

令和5年度 努力点推進計画

名古屋市立稲西小学校

1 研究主題

自ら「気づき、考え、実行する」児童の育成

～ICT 機器を効果的に活用して、自分の考えを広げたり、深めたりする活動を重視して～

2 主題について

学習指導要領では、「生きる力」を教育の柱に掲げ、それを「自ら学び、考え、主体的に判断する能力」と位置付けている。社会が劇的に変化の中で、児童一人一人が主体的に社会に関わり、多様な人々との交流を通じて新たな価値を創造し、人生を切り拓く力を身に付けることが、より一層求められている。そこで、本校では、自ら「気づき、考え、実行する」児童の育成を目指し、昨年度から研究を進めている。

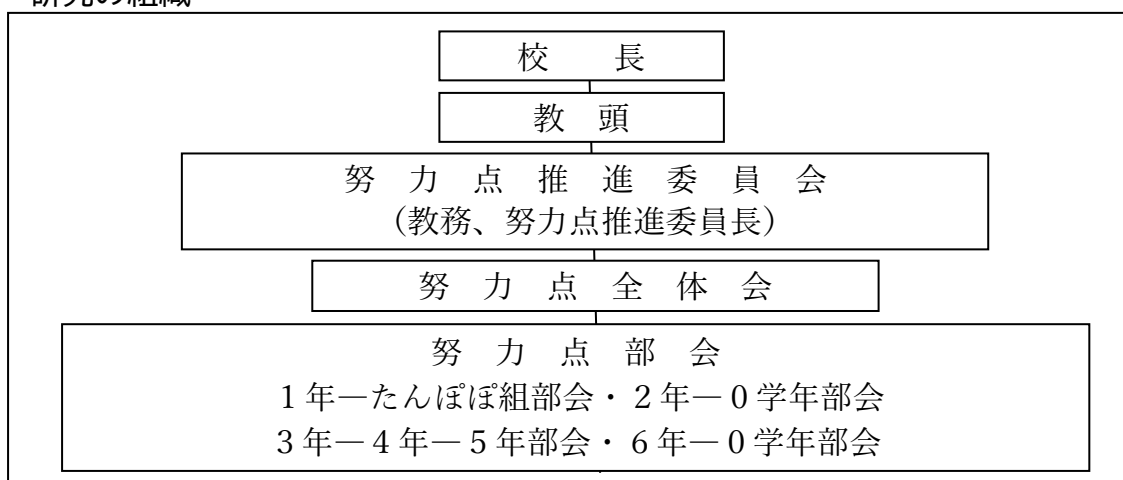
本研究では、児童が課題意識をもち、興味をふくらませる段階を「気づく」、自分や他者の考えを共有し、自分の考えを広げたり深めたりする段階を「考える」、友達に考えを発表したり、課題を解決するために試行錯誤したりする段階を「実行する」と定義した。予測できない変化に受け身で対処するのではなく、一人一人が主体的に課題と向き合っ行動することができる児童を育成したい。

特に、「考える」段階では、学習者用タブレット端末、プロジェクタ、デジタルカメラ、実物投影機などの ICT 機器を効果的に活用していく。本校では、昨年度までの努力点授業において、ICT 機器を活用することで、情報の共有がしやすくなり、課題解決に向けて調べたり、自分と友達の考えを比べたりしながら、自分の考えを広げたり、深めたりすることができた。そのため、今年度も教師が各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を踏まえ、児童に身に付けさせたい資質・能力が何であるかを十分に理解し、単元を見通した学習計画を立てることで、目指す児童を育てていきたいと考える。

目指す児童の姿

ICT 機器を効果的に活用して、自分の考えを広げたり、深めたりする児童

3 研究の組織



- ① 推進委員会は校長・教頭の指導のもと、努力点推進の方向付けを行い、全体計画の概要を作成する。また、研究推進の状況を把握し、連絡、調整を図る。
- ② 推進委員は、努力点を推進する上で、補佐および伝達の役割を担う。令和5年度は、昨年度と同じテーマで研究を行うため、推進委員を置かない。
- ③ 全体会では、研究計画・方法の決定と共通理解を図る。また、研究を進め、研究の成果と課題の共通理解を図る。

4 研究の方法

- 1 4月21日(金)までに、公開授業の教科・単元を推進委員長に報告する。
- 2 目指す児童像に迫るような授業を、年間を通して行う。その中で、一人1実践を公開する。(今年度は1学期中)
- 3 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を踏まえ、児童に身に付けさせたい資質・能力が何であるかを十分に理解し、単元を見通した学習計画を立てる。
- 4 ICT 機器を効果的に活用し、自分の考えを広げたり、深めたりすることができるような手立てを検討する。
- 5 努力点部会メンバー+推進委員長+教務主任で事前検討会を行う。事前検討会では、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を踏まえ、児童に身に付けさせたい資質・能力が何であるかを考えた上で、単元の学習計画を立てることができているかを話し合う。(事前検討会は授業希望日より2週間前までに行う。推進委員長が日程を調整し、努力点部会のメンバーに周知する。)
- 6 作成した指導案を教務主任に提出する。(1週間前までに)
- 7 公開授業を行う。(自分が所属する努力点部会のメンバーが行う公開授業は、できる限り、おすすめ時間を中心に参観できるように調整すること)
- 8 実践後には、推進委員長を中心に、参観した教員で事後検討会を行う。付箋を活用するなど、授業の成果や改善点を共有する。
- 9 最終報告には、「気づく」「考える」「実行する」にあたる部分がどこなのかが分かるように、公開授業だけでなく単元を通して掲載する。

5 研究の内容(年間計画) 公開授業は、随時行う。

月 日(曜)		概要
4月 3日(月)	推進委員会	テーマの検討 研究計画案の作成
4月10日(月)	全体会	研究計画の検討 年間計画の立案 研究組織の確認
	推進委員長	努力点推進委員長による指導案の見本と 最終報告のまとめ方の見本の提示
4月14日(金)	各学級担任 0学年	具体的な実践計画の検討 公開授業の検討 授業実践計画の提出
公開授業の 2週間前までに	努力点部会 (事前検討会)	1年—たんぼぼ組部会、2年—0学年部会、3年— 4年—5年部会、6年—0学年部会がグループとな って公開授業の検討をする。
公開授業後～ 9月1日(金) までに	各学級担任 0学年	努力点最終報告の作成 成果と課題の検討
随時	努力点部会 (最終報告検討会)	最終報告の誤字脱字などのチェックをする。1年— たんぼぼ組部会、2年—0学年部会、3年—4年— 5年部会、6年—0学年部会がグループとなって報 告書のチェックをする。
9月22日(金) までに	各学級担任 0学年	最終報告の修正完了
12月11日(月)	全体会	最終報告の確認
1月25日(木)	推進委員会	次年度のテーマや研究の方向性の検討
3月7日(木)	全体会	最終報告の発表